

首都直下地震防災訓練を実施しました（東扇島会場 H27. 11. 5）

1. 参加機関・人員（18機関・2団体、約300名）

大臣官房（運輸安全防災）、港湾局（海岸・防災課）関東地方整備局、関東運輸局、第三管区海上保安本部、横浜市、川崎市、神奈川県警、陸上自衛隊、海上自衛隊、東京電力(株)、日立建機日本(株)、（一社）日本埋立浚渫協会関東支部、川崎港運協会、神奈川倉庫協会、（一社）日本自動車連盟（JAF）（神奈川支部）、横浜マリン石油(株)、（一財）海上災害防止センター、専修大学（川崎）SIV、防災エキスパート

2. 主な訓練内容

① 応急復旧訓練（防災拠点内液状化、岸壁背後陥没） ② 緊急確保航路啓開訓練 ③ 緊急物資輸送訓練（陸・海・空）

3. 初めての取り組み

- ① 昨年3月に締結した災害時の燃料調達に係る協定に基づき、油槽船（横浜マリン石油）による燃料の供給訓練を実施
- ② 人命救助訓練に、災害現場で救命処置を実施する川崎DMATが訓練に初参加
- ③ 川崎市内の大学（専修大学生田キャンパス）の学生ボランティアサークルが訓練に初参加

開会式



高田副局長挨拶

実施した主な訓練

■ 被災者の人命救助訓練



川崎市消防局・川崎DMAT



神奈川県警「はまかぜ」

有明地区防災拠点へ向け
神奈川県警による救急搬送

■ 緊急輸送路啓開訓練



JAFによる輸送路障害車両撤去

■ 応急復旧訓練



31号岸壁背後での仮設橋梁設置



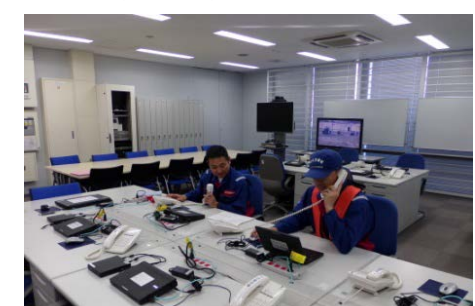
拠点内液状化応急復旧・大型敷鉄板敷設

■ ライフライン応急復旧訓練



応急送電訓練 東京電力

■ 情報伝達訓練



内閣府防災拠点施設における情報伝達訓練

緊急確保航路啓開訓練



海底から2 tトラックの引き上げ



千葉港湾「べいくりん」

海上漂流物撤去



湾口航路事務所「うらなみ」

ナローマルチビームソナーを使用した海底障害物探査



川崎海上保安署「たまかぜ」

海上浮遊油拡散放水

緊急物資輸送訓練



陸上自衛隊「UH-1」

羽田空港を活用した物資輸送（空路・海路）



千葉港湾「あいりす」



荒川 小松川リバーステーションへの物資輸送（東扇島防災拠点・舟運岸壁）

マンホールトイレ組立訓練



専修大学ボランティアグループ（SIV）による災害用マンホールトイレ組み立て訓練（初）

仮設燃料給油所設営訓練



-4.5m物揚場での油槽船からドラム缶への燃料注油⇒仮設貯蔵所⇒ダンプトラックへの給油

閉会式



講評 加藤港湾空港部長